

(単元) 農林水産業

(本時のねらい)

農林水産業は自然環境と大きく関わる内容であり, 農業地域の形成は, 地形・気候との関わりが大きく, また環境問題を引き起こす原因にもなっている。それらとの関わりを意識させることで知識の連鎖を大観させる。また, 農業は人間生活にとってなくてはならないものであり, 地域ごとの農業形態や食糧問題の違いを考察する。

(ICT 活用方法)

生徒に自分の意見を選択・判断をさせるために, 判断の基準になるような写真やデータを提示した。従来は口頭での指示やプリントによる説明であったが, 視覚教材を多用することにより, 効率よく体感することができ学習を効率よく進めることができた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法	備考
導入 5分	1. 本時の学習活動を知る。			
	「世界で発生している食糧問題を知り, これからの行動を考える」			
	「食糧問題」というキーワードで思いつく言葉を思いつく限りワークシートに書き込む。	思いついた言葉をできるだけ多く書き込ませる。		
展開 25分	2. どのような問題があるか映像で確認する。 「先進国の食料問題」(3分43秒) ・思いついたキーワードを出し合う(「食品ロス」「バイオメタール」「人口増加」「干ばつ」「サヘル」「紛争」「難民」「モノカルチャー」「子供が6秒に1人亡くなる」)。	マインドマップを作成するのでメモをとらず。	NHK 高校講座【資源と産業編】 「先進国の食料問題」を観させる。 生徒が意見の選択や判断をしやすいように食糧問題に関する様々な写真やデータを提示する。	

<p>まとめ 15分</p>	<p>マインドマップ作成 ・3～4人の班をつくり、「現在、世界で発生している食糧問題はどのようなものか。それに対して私たちはどのような行動ができるか」を発表する。</p>	<p>他者の意見を自分の意見考えと比較させる。</p>	<p>各グループでまとめた考えをタブレットで撮影し、発表する際に電子黒板に掲示する。</p>
--------------------	---	-----------------------------	--

(授業の様子)



教材の投影(ヨーロッパの稲作)



板書とICT



提示資料

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

授業を映像で感じさせることにより、よりリアル感が知識と化学反応をおこし生徒自らが考え、自分たちのこととしてしっかりと発言できたように思う。今後も教材の精査を心掛けると生徒主体の活発な授業展開が可能と感じ、今後のICT活用授業の大いなる可能性を感じた。